

## 堺市指定管理者評価表

( 評価対象期間 : 令和2年9月1日 から 令和3年3月31日 まで )

### 1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
原山公園、原山かもめ公園	
(2) 施設の設置目的	
原山公園の活性化と柁・美木多駅周辺の賑わいの創出に寄与し、もって泉北ニュータウンの再生に資するため	
(3) 所管部局	
建設局 公園緑地部 公園緑地整備課	
(4) 指定管理者名	
原山公園PFI株式会社	
(5) 指定期間	
令和2年9月1日から令和22年3月31日まで(19年7ヵ月間)	
(6) 主な事業	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 建築物保守管理業務</li><li>・ 清掃業務</li><li>・ 樹木維持管理業務</li><li>・ 公園全体に係る運営業務</li><li>・ 屋外プール等施設に係る運営業務</li><li>・ 屋内施設に係る運営業務</li></ul>	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
スポーツ・レクリエーション施設	有 (利用料金制)
(9) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	
(10) 主な利用者	(11) 市内における受益対象者数
市民	不特定多数
(12) 近隣の類似施設	
美原総合スポーツセンター、のびやか健康館、金岡公園プール、大浜公園プール	

## 2 管理運営状況

## (1) 適正な管理運営の確保

## ア 取組状況

平等利用、安全確保、個人情報の保護等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者に避難経路の案内をするほか、利用者を含めた避難訓練を実施した。</li> <li>・ジム、プールに必ず1名スタッフを配置し、常に安全確保に努めた。</li> <li>・個人情報については、指定の鍵付き什器に保管し、適切な取扱いを徹底した。</li> </ul>
職員配置、人材育成、施設の維持管理等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフの研修を毎月行い、常に利用者の声を共有した。</li> <li>・研修により接遇の能力の向上に努めた。</li> <li>・施設や備品等の点検頻度や点検項目をリスト化し、適切に管理した。</li> </ul>
施設の設置目的に沿った事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度事業計画書で企画した事業については、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置に鑑み一部中止とした。</li> <li>・体験利用や月額料金の割引制度を行うなど、利用者の声を伺いながら、随時、改善対策をし利用者満足度の向上に努めた。</li> </ul>
その他特筆すべき取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍において、クラスターが発生しないよう、除菌作業を中心に清潔な環境を維持するように努めた。</li> </ul>

## イ 市による状況分析

指定管理者制度を導入した初年度であったことに加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、集客にかなり苦戦していた。できる範囲で工夫しながら、施設の運営を軌道に乗せる姿勢が見られた。徹底したスタッフ教育による施設のイメージ向上に努め、質の高い市民サービスの提供につながっている。

## (2) 利用者サービスの向上

## ア 利用状況

※多目的コートに限る

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
指定管理者名				原山公園PFI株式会社	原山公園PFI株式会社
利用者数(単位:人)				771	—
稼働率(単位:%)				16.2	—
利用者満足度(単位:%)				71.0	—

## イ 取組状況

サービス向上、利用促進	健康増進事業として成人利用者を獲得することができ、スクール事業の自主事業で若年層を獲得することができた。
意見・苦情・要望等への対応	直接のお声や、アンケートボックスを設置し、その意見を基に改善できることは適宜対応してきた。特に新型コロナウイルスに関する意見が多く、意見を踏まえた対応を行うことで、安全に施設の利用をするための環境を提供した。
その他特筆すべき取組	屋外プールが開園できなかったが、その他の施設において、SNSを活用した広報活動やワンコイン体験などを開催することで徐々に利用者を増やすことができた。

## ウ 市による状況分析

当初は屋外プールの開園により、公園の宣伝・広告効果を期待していたが、開園が延期になり、その効果が得られなかった。そのような状況下でも、感染症拡大防止対策をとりながら、スイミングや体操教室など様々なスクールを展開することで、利用者のサービス向上に努めている。

## 2 管理運営状況

## (3) 収支

## ア 収支状況

(単位:円)

## ■ 指定管理業務

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (予算)
指定管理者名					原山公園PFI株式会社	原山公園PFI株式会社
収入	サービス対価				37,750,167	57,046,000
	利用料金				37,307,557	149,252,500
	負担金				0	0
	その他				898,932	0
合 計		0	0	0	75,956,656	206,298,500
支出	人件費				0	0
	委託料				71,947,156	200,952,500
	総支出額に占める 委託料の割合				96.8%	97.9%
	修繕費				0	0
	光熱水費				0	0
	その他				2,380,450	4,246,000
合 計		0	0	0	74,327,606	205,198,500
収支差額		0	0	0	1,629,050	1,100,000
(市への納付金の額)					0	0
(徴収委託の場合の徴収額)		-	-	-	-	-

## ■ 自主事業 (有)

(単位:円)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (予算)
収入				4,600,556	8,517,500
支出				4,600,556	8,517,500
収支差額	0	0	0	0	0
(市への納付金の額)				0	0

## イ 取組状況

経費の縮減、経理事務	・約20年の長期間の契約を担保とし、各構成企業の委託料を縮減している。 ・その他収入には市の休館等指示で還付した令和2年度の利用料金等相当額として市が支払った898,932円を含む。
------------	--

## ウ 市による状況分析

令和元年度まで直営による管理であったため、令和元年度と令和2年度との比較による分析は困難であるが、コロナ禍においても安全に開催できる自主事業を展開することで、収支差額がマイナスにならずに運営されている。

## 3 目標管理、総合評価

## (1) 目標管理

## ア 仕様書で定める目標の達成状況

## ■ 適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
利用者の安全確保	指定管理者の管理瑕疵に係る事故発生件数0件	0件

## ■ 利用者サービスの向上

指標	目標	実績
アンケート調査における利用者の満足度	施設の満足 70%以上	71.0%
アンケート調査における利用者の満足度	接客の満足 70%以上	75.0%

## ■ 収支

指標	目標	実績
施設収入(屋外プールを除く)	67,265,333円	37,307,557円

## イ 市による状況分析

- ・日常警備や巡回時の声掛けなど適切に維持管理を行うことにより、事故防止に努めている。
- ・初年度の運営でスタッフに不慣れな部分があったことと、コロナ禍ということを考慮しても、実績は各満足度の目標を上回っていることから、申し分ない結果と言える。
- ・施設収入については、新型コロナウイルスの影響により、利用者が少なかったり、計画していた事業が実施できなかつたりしたため、目標には及ばなかった。

## (2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	B	B
評価の理由	屋外プールの営業が出来なかったことにより、目標収入に大きく届かなかった。 屋内施設利用については屋外プール未開園で周知不足となり、またオープンが遅れたことは集客に大きく影響があった。運営面では安全・安心を注力し、利用者の満足を得ることができた。	新規施設であることや、新型コロナウイルスの影響もあり、当初想定していたおりの運営はできなかったが、できる範囲で事業展開や広報活動を行っており、一定の成果を確認できた。また、四半期ごとに行っているモニタリングにおいても、適切な維持管理・運営を行っていることが確認できた。
今後の取組	コロナ禍において、安全安心に運動ができ、健康意識を高めていただけるよう、また利用しやすい公園をめざし利用者を増加させていく。	新型コロナウイルスの情勢にもよるが、令和2年度に実施できなかった事業を幅広く展開し、事業コンセプトを達成できるような取組を期待する。

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの